



ふるい ようこ  
古井 陽子 さん(下川島)

「知りたい」をきっかけに学び、  
伝え続けていくことが郷土愛  
の醸成につながると実感！

会長の水木洋三みずき しょうぞうさんは「設立は今年  
の2月ですが、5年前に発足した  
『おかえりなさい人面土器プロジェクト』  
がベース。同地区内の女方遺  
跡から出土した顔面付壺型土器のレ  
プリカを川島駅前に設置し、小中高  
生を中心に愛称と川柳を募集しまし  
た。ぴったりの愛称を付けようと土

## 前身は2つのプロジェクト

鬼怒川沿いに位置する川島地区。  
縄文・弥生時代の遺構や女方古墳群  
を有し、江戸時代以降には水運の拠  
点として栄えた同地区で、文化財を  
とおしてまちづくりを進める市民団  
体「川島まちづくりプロジェクト」  
を取材しました。

# 川島まちづくりプロジェクト

知りたい  
学びたい  
伝えたい  
の好循環



シンポジウムの様子

器について調べること、自然と郷  
土史が学べる企画が好評でした」と  
話してくれました。

## 二千年の時 ロマンの追及

さらに2年後『川島河岸銅版画プ  
ロジェクト』が始動。江戸時代から  
大正時代に川島を繁栄させた鬼怒川  
の河岸における物資の積み下ろしや  
保管、船の発着所を描いた銅版画を  
もとに、水運の興廃を伝える案内板  
を川島駅前に設置しました。除幕式  
にあわせて開催したシンポジウム  
は、川島の歴史を紐解く有意義な場  
となったそうです。

器について調べることで、自然と郷  
土史が学べる企画が好評でした」と  
話してくれました。

2つのプロジェクトを基に地域活  
性化を図ろうと設立された同団体。  
発起人の一人で筑西ふるさと大使も  
務める並木勝利なみき かつひさんは「はじめは川

## 取材を終えて

取材当日は、川島小学校2年生の  
島に点在している歴史の要所を線で  
つなぎ、周遊できるコースを作りた  
いと考えていました。そこで郷土史  
を深掘りするうちに、どんどん面白  
くなっちゃって。埋葬時に人面土器  
が使われていることが多いと知り、  
どんな人がどんな想いで作ったの  
か、ロマンを追求したくなります。  
二千年前のこの地にも命を大切にす  
る考えがあったと想像していくと温  
かい気持ちになります。そんな温度  
のある学びを子どもたちにもしてほ  
しいと思います、学校との協働にも力  
を入れていきます」と今後の活動につ  
いて語りました。



川島まちづくり  
プロジェクト 水木会長



二千年前のロマンを伝える  
並木さん



愛称「おじさん」

顔面付壺型土器レプリカ

090・8944・0418

【問】川島まちづくりプロジェクト  
会長 水木  
「まちづくりは人づくり」をモツ  
トに活動するみなさんの輪が地域  
に広がっています。

校外学習「まち探検」に協力し、川  
島駅前で人面土器についての説明を  
していました。子どもたちのワクワク  
した表情で話を聞く姿に、同団体の  
活動に込めた想いが実を結んでいる  
ことを感じました。12月には川島  
小学校6年生を対象に、土器作り体  
験も企画しているとのこと。



「まち探検」  
当日の様子

まち探検(9月26日)川島駅前にて撮影